

船舶事故調査報告書

平成28年3月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	被引浮体搭乗者負傷
発生日時	平成27年8月9日 16時20分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港 能古島灯台から真方位201° 3.6海里付近 (概位 北緯33° 34.9′ 東経130° 16.7′)
事故の概要	水上オートバイ nissa は、浮体をえい航しながら遊走中、浮体の搭乗者1人が軽傷を負った。
事故調査の経過	平成27年8月17日、調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ nissa、0.1トン
船舶番号、船舶所有者等	290-62875福岡、株式会社KSK
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型
負傷者	軽傷 1人（搭乗者A）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、搭乗者Aほか1人を乗せた8の字型浮体をえい航して遊走中、船長が、錨泊していた水上オートバイ（以下「錨泊船」という。）に接近して右転した。 浮体は錨泊船に接触し、浮体の後部に乗っていた搭乗者Aの左足が、錨泊船に接触した。 えい航索の長さは、約18mであった。
分析	本船は、船長が、浮体をえい航して遊走中、えい航索の長さよりも近い距離で錨泊船に接近して右転したことから、遠心力によって振られた浮体が錨泊船に接触するとともに、搭乗者Aの左足が錨泊船に接触したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、浮体をえい航して遊走中、えい航索の長さよりも近い距離で錨泊船に接近して右転したため、遠心力によって振られた浮体が錨泊船に接触するとともに、搭乗者Aが錨泊船に接触したことにより発生したものと考えられる。